

下水道事業調査 対策特別委員会

委員長 村上 知巳

21年度概要報告

第1回では執行部より全体計画見直しと、筑後市の計画見直し縮小について県関係者市町で協議が整ったとの報告を受けた。

質疑において「計画区域を縮小したが、各市町で減少率が異なるため、市の建設負担率は36.5%から38.9%にアップした。しかし、全体の事業費が減額となるため建設負担金総額は減額となる」と答弁があった。

また「都市計画などにより、今後開発が予想される地域については、県と関係市町が協力することで確約が取れている」と報告された。

第2回では、まず浄化槽

集合処理地域における受益者負担金の取り扱いについて協議した。「減免措置はどう考えているか」との質問に「委員会の承認後、地元と協議したい。分譲マンションと同様となるよう減免したい」と説明があった。

また矢部川流域の下水道維持管理負担金単価の見直しについては、県が27年度までしか赤字分の拠出金は出さないため、28年度以降は関係市町の拠出となる。今回見直せば46年度より処理単価を抑えていけると説明を受けた。委員会としては「早く見直した方が最終的には筑後市にメリットがある」と判断し、全員賛成で承認した。

3月議会において「筑後市議会だより編集特別委員会」の1年間の活動報告をしました。この件につきましては、前号までの「つづ〜市議会だより」の発行に代えさせていただきます。

先進地に学ぶ〜研修レポート〜

平成22年2月2日〜2日4日

議会運営委員会

訪問先

栃木県足利市

研修目的

事業仕分け

事業仕分けによる予算編成を実施し、財政支出削減で成果を上げている足利市を研修。市長選挙の折、マニフェストに事業仕分けをすることを公約し当選した現市長により事業仕分けを行った。初めてで難しい点もあったが、経費100万円程度で実現した。また事業対象は1,200事業中60事業を選定し、事業仕分けが行われていた。

訪問先

埼玉県蕨(わらび)市

研修目的

議会改革への取り組み

政務調査費について、議員一人あたり月額3万3,000円支給になるが会派制のため各会派に一括支給している。使途についてはマニュアルが作成されてい

る。議会出席時の費用弁償は月額3,000円。近隣の市でも出している。議員報酬は月額41万5,000円で17年間据え置き。議員定数については、近隣市との合併が破談となり定数削減を余儀なくされ、24人から18人に減らし歳出削減に努めている。特徴としては、

公共施設再整備再配置調査

研究特別委員会が設置され、市内に点在する公共施設のあり方について、財政面や市民のニーズにより再整備、再配置の見直しをやっているなどの説明があった。

栃木県足利市

(人口156,064人)

埼玉県蕨市

(人口71,597人)



研修風景(足利市)

3月定例会

会期日程

5日

開会・会期の決定

諸般の報告

議案上程・提案理由説明

特別委員会報告

6日〜7日

休会(土・日)

8日〜9日

考案日

10日〜12日

一般質問

議案上程・提案理由説明

13日〜14日

休会(土・日)

15日

議案質疑・諸般の報告質疑

議案常任委員会付託

予算特別委員会の設置

及び議案付託

16日

考案日

17日

常任委員会付議案件審査

18日

考案日

19日

予算特別委員会付議案件審査

20日〜22日

休会(土・日・祝)

23日〜24日

予算特別委員会付議案件審査

25日

委員会審査報告・議案討論採決

会議録署名議員指名・閉会